

平成 27 年度
教育委員会事務の点検評価報告書

平成 28 年 8 月
利根町教育委員会

目 次

I	点検及び評価の概要	1
II	第4次総合計画における施策との関係	2
III	点検評価の結果	
1	就園・就学支援の充実	3
2	義務教育環境の整備	6
3	義務教育内容の充実	9
4	学校給食の充実	14
5	学校保健の充実	18
6	家庭・地域社会との連携強化	20
7	生涯学習活動の推進	23
8	生涯学習環境の整備充実	25
9	文化活動の振興	28
10	歴史的財産の保全	30
11	生涯スポーツの推進	33
IV	教育委員会の運営状況	35
V	点検評価員の意見について	41

I 点検及び評価の概要

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

「第4次利根町総合振興計画 4期基本計画（平成25年度～平成29年度）」に掲げられた教育委員会所管の施策及び主な取組内容で、平成27年度に実施したものを対象にしました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 4期基本計画の施策及び主な取組内容について、教育委員会で点検・評価を実施しました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する者の意見や助言を受け、また、今後の施策改善に反映させるため、各施策・主な取組内容の成果や課題を明らかにしました。

II 第4次総合振興計画4期基本計画における施策との関係

今回の点検評価にあたっては、「利根町第4次総合振興計画4期基本計画」に掲げた施策の中で、教育委員会が所管するものを対象にしました。

施策	主な取組内容
1 就園・就学支援の充実	① 就園支援の充実
	② 就学支援の充実
2 義務教育環境の整備	① 教育施設・設備の充実
	② 適正な学校規模の維持
3 義務教育内容の充実	① 確かな学力を身につけさせる教育の推進
	② 豊かなこころを育む教育の推進
	③ 健康や体力を育む教育の推進
	④ 社会の変化に適切に対応できる教育の推進
	⑤ 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進
	⑥ 教職員の資質向上
4 学校給食の充実	① 給食内容の充実
	② 学校給食施設・設備の充実
5 学校保健の充実	① 心身の健康管理対策の充実
	② 体力づくりの促進
6 家庭・地域社会との連携強化	① 地域ぐるみで育てる体制づくり
	② 学校安全対策の推進
	③ 地域に開かれた学校づくり
	④ 青少年の健全育成
7 生涯学習活動の推進	① 生涯学習意識の高揚
	② 自主的な生涯学習活動の支援
8 生涯学習環境の整備充実	① 社会教育施設の整備充実
	② 生涯学習の機会と場の提供
9 文化活動の振興	① 文化活動の支援
	② 文化イベントの充実
	③ 文化施設の整備と利用促進
10 歴史的財産の保全	① 文化財の保護
	② 伝統文化の保存・継承
11 生涯スポーツの推進	① スポーツ・レクリエーション活動の促進
	② スポーツ団体・指導者の育成
	③ スポーツ・レクリエーション施設の充実

Ⅲ 点検評価の結果

対 象 施 策	1 就園・就学支援の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■発達や学びの連続性を踏まえた幼保小連携に努めます。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【就園支援の充実】</p> <p>○私立幼稚園就園奨励補助金</p> <p>子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園が対象で、対象になる私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の一層の振興を図りました。</p> <p>補助対象者は町内に住所を有し、対象となる私立幼稚園に在園している満3歳～5歳児の保護者で、別紙の対象基準に該当する方に交付し経済的負担を軽減することができました。</p> <p><u>《平成27年度実績》 4園4件／交付総額 383,100円</u></p>	
<p>【就学支援の充実】</p> <p>○要・準要保護児童就学援助事業（小学校費）</p> <p>学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由によって就学困難と認められた児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより義務教育の円滑な実施を図るため、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、医療費の一部又は全額を支給しました。</p> <p>生活保護に準ずる世帯の児童を対象に就学援助を行うことで、経済的理由による不登校や長期欠席など就学を妨げる要因を緩和し、児童の就学を円滑にすることができました。</p> <p><u>《平成27年度実績》 小学校費28名／交付総額 1,530,190円</u> (要保護1名, 準要保護27名)</p>	
<p>《参考》要・準要保護生徒就学援助事業（中学校費）</p> <p>中学校費24名／交付総額 2,201,520円 (準要保護24名)</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<p><input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない</p> <p>経済的理由により就学が困難と認められた保護者に必要な援助を実施することで、就学を円滑にするものであり、年々対象者が増加していることから、必要性が高くなっている。</p>

<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>経済的理由により就学に困難を感じた保護者に年度途中でも対応できるよう，就学時健診時など制度について事前に説明しており，町ホームページでも掲載しています。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか？</p>	<p>■達成 □概ね達成 □未達成</p> <p>学校や民生委員との連携を図り，年度途中において援助が必要となった保護者に対しても援助するなど，対応することができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p>人間形成に大きな影響力を及ぼす幼児期の幼児教育の重要性は高まっており，幼稚園児保護者の経済的負担の軽減を目的とした就園奨励費補助金交付制度の普及により幼児教育の振興に努めることができました。</p> <p>また，幼稚園や保育園から小学校へ円滑につなげていくために，幼稚園，保育園，小学校が子供の成長を共に見守る幼保小連携を進め，要保護・準要保護就学支援事業により子育て家庭を支援し，適切な就学支援に努めるとともに，家庭と地域の子育て力の向上を図り，経済的理由による不登校や長期欠席の児童ゼロを目指していきます。</p>	

別紙

幼稚園のみに子どもがいる場合

区分	補助限度額（年額）		
	在園中の第1子	在園中の第2子	在園中の第3子以降
平成27年度 町民税（年額）			
生活保護世帯	308,000円	308,000円	308,000円
町民税非課税世帯	272,000円	290,000円	308,000円
町民税の所得割非課税世帯			
町民税所得割額が77,100円以下の世帯	115,200円	211,000円	308,000円
町民税所得割額が211,200円以下の世帯	62,200円	185,000円	308,000円
上記区分以外の世帯	—	154,000円	308,000円

小学校1年生から3年生に在学する兄又は姉がいる場合

区分	補助限度額（年額）	
	在園中の第2子	在園中の第3子以降
平成27年度 町民税（年額）		
生活保護世帯	308,000円	308,000円
町民税非課税世帯	290,000円	308,000円
町民税の所得割非課税世帯		
町民税所得割額が77,100円以下の世帯	211,000円	308,000円
町民税所得割額が211,200円以下の世帯	185,000円	308,000円
上記区分以外の世帯	154,000円	308,000円

対 象 施 策	2 義務教育環境の整備
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■児童・生徒が安全に安心して生活できる学校づくりを推進します。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【教育施設・設備の充実】</p> <p>○学校設備整備事業（小学校費・中学校費）</p> <p>○学校施設維持管理事業（小学校費・中学校費）</p> <p>○学校建設事業（小学校費・中学校費）</p> <p>老朽化に伴う施設の改修や設備の整備事業を緊急性・安全性の面から計画的に実施し、施設の耐久性・安全性の確保と、備品の充実により児童生徒の学習環境の向上及び教育内容の変化に対応するなど学校施設の整備改善を図るため、維持補修工事等を行い学校運営の円滑化と安全性が確保されました。</p> <p>《平成27年度実績（主なもの）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校設備整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事務機器の借上げ（コピー機，印刷機，図書管理システム等） ・学校管理備品（机・椅子，学籍簿保管庫ほか）購入 ○小学校施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・文小学校屋内運動場天井落下防止工事監理業務委託 ・布川小学校屋内運動場天井落下防止工事監理業務委託 ・文小学校屋内運動場天井落下防止工事 ・布川小学校屋内運動場天井落下防止工事 ・文間小学校プールろ過装置交換工事 ・布川小学校体育館軒天・堅樋改修工事 ○小学校建設事業 <ul style="list-style-type: none"> ・文間小学校屋内運動場大規模改造工事設計業務委託 ・文小学校空調設備工事監理業務委託 ・文間小学校空調設備工事監理業務委託 ・布川小学校大規模改造(空調)工事監理業務委託 ・布川小学校大規模改造(老朽)工事監理業務委託 ・文小学校空調設備工事 ・文間小学校空調設備工事 ・布川小学校大規模改造(空調)工事 ・布川小学校大規模改造(老朽)工事 	

○中学校設備整備事業

- ・事務機器の借上げ（コピー機，印刷機）
- ・学校管理備品（机，椅子，製氷機ほか）購入

○中学校施設維持管理事業

- ・利根中学校屋内運動場及び武道場天井落下防止工事監理業務委託
- ・利根中学校屋内運動場及び武道場天井落下防止工事
- ・利根中学校体育館バドミントンコートライン設置工事

○中学校建設事業

- ・利根中学校大規模改造(空調)工事監理業務委託
- ・利根中学校大規模改造(老朽)工事監理業務委託
- ・利根中学校大規模改造(空調)工事
- ・利根中学校大規模改造(老朽)工事

【適正な学校規模の維持】

現在1つの学級の人数は40人までとなっています。小学校第1・2学年で35人を超える学級がある場合，中学校第1学年で35人を超える学級が3学級以上ある場合は1学級を増設することができ，国・県の学級編成基準により編成しております。

《望ましい学校規模》

- ・児童生徒が学ぶ意欲を高め，学力向上に向けた学習形態の工夫を行える複数の学級編成
- ・中学校での，教科の免許をもった教員が適切に配置できる規模
- ・生徒の希望する多様な部活動を設置できるような規模
- ・集団生活の中で切磋琢磨することで社会性や協調性を育みやすい規模
- ・教員の相互の指導工夫ができ，協力体制を組むことができる1学年2学級以上の規模

<p>必 要 性 必要不可欠な事業か？</p>	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない 児童生徒の学習環境の向上，安全性の確保の観点から教育環境の整備・改修は必要不可欠です。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い 大規模改造工事等については，財政面から町単独では実施できないため，国の補助金に頼らざるを得ず，補助金が決定してから実施した大規模改造工事と，町単独で実施した空調設備工事などが集中した中で効率よく実施することができました。</p>

<p>達成度 目標を達成しているか？</p>	<p>□達成 ■概ね達成 □未達成</p> <p>国庫補助の関係で一部大規模改造工事が平成28年度にずれ込みましたが、概ね達成されています。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p>学校教育の教育効果を高め、教育活動の充実を図るためには望ましい学校規模と学級規模を確保し、教育環境を整えることが重要で、老朽化した学校施設や設備の改修を進め、子どもたちが安全に学ぶ環境の整備充実を図りました。</p> <p>今年度は、国庫補助の関係で布川小学校及び利根中学校の外部改修の大規模改造工事、文、布川小学校体育館吊り天井改修工事、利根中学校体育館及び武道場吊り天井改修工事を実施し、町単独で全校の空調設備（エアコン）設置工事を実施いたしました。校舎内部の大規模改造工事につきましては、平成28年度に実施し、大規模改造工事がすべて完了する見通しです。</p> <p>通学路の安全確保については、通学路の安全確保に向けた取組を継続的、効果的に実施するため「通学路交通安全プログラム」により関係機関が連携し、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。</p> <p>また、学校統合以降通学区域の再編等に伴い保護者や地域の理解と協力を得ながらスクールバスを運行し、今年度も安全に通学できる体制を整えています。</p>	

対 象 施 策	3 義務教育内容の充実
担 当 課	指導室・学校教育課
推 進 目 標	■一人ひとりが輝く活力ある学校づくりを推進します。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【確かな学力を身につけさせる教育の推進】</p> <p>○学力向上推進事業</p> <p>○語学指導事業</p> <p>確かな学力を身につけさせるため、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図るため、事業を実施しました。</p> <p>○学力向上推進事業</p> <p>教育指導や学習状況に改善に役立てるため、児童生徒一人ひとりの学力学習状況を多面的に把握分析しました。</p> <p>《平成27年度実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査の実施（平成27年4月21日実施） 小学校6年生（国語・算数・理科） 中学校3年生（国語・数学・理科） ・学びの広場サポートプランの実施 町内の小学校4・5年生において、「算数の四則計算等」の知識、中学校1・2年生においては、基礎学力の確かな定着を図るため、基礎学力の技能を定着させるため夏休み期間中の5日間実施しました。 <p>○語学指導事業</p> <p>中学校においては、生徒の語学力、特にコミュニケーション能力の開発に十分役立っており、国際化や国際交流の一翼を担っています。</p> <p>また、生徒の英語インタラクティブフォーラム大会出場の際には、英会話の指導に当り貢献しました。</p> <p>小学校においては、派遣回数が増え、楽しく英語に触れながら外国の文化や習慣に対する関心が高まりコミュニケーション能力の素地をつくるなど国際感覚の育成に努めました。</p> <p>《平成27年度実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校専属ALT 1名 毎週 月～金曜日 各小学校（週1～2回） ・中学校専属ALT 1名 英語教諭とのティーム・ティーチング 	

【豊かなこころを育む教育の推進】

○教育研究指導事業（うち教育相談事業）

基本的な生活習慣の育成，規範意識の確立，他人を思いやる心，感動する心など，体験的な活動を重視し，教育活動全体を通じて，豊かな心を支える道徳性の育成を図るため，事業を実施しました。

○教育相談事業

専門の教育相談員により児童生徒及び保護者が学校又は学校外で抱える諸問題について適切な指導，助言及び援助を行い問題の改善や早期解決を図りました。

《平成27年度実績》

・教育相談員

相談受付： 毎週月～金曜日 *学校巡回 水・木曜日
相談件数（来所，電話，訪問，巡回路合計）612件

【健康や体力を育む教育の推進】

○運動部活動の工夫・改善支援事業

○中学校補助金

○運動部活動の工夫・改善支援事業

町と日本ウェルネススポーツ大学との連携を図り，利根中学校の女子バドミントン部へ技術力の向上のため日本ウェルネススポーツ大学バドミントン部より指導者2名を配置。

指導者を活用することにより，技術力の向上が図られ顧問教員と指導の一体化がとれ地域と連携した運動部活動が実践されました。

《平成27年度実績》

・指導者派遣回数：13回×2名

○中学校補助金

生涯にわたって健康で安全な生活を送るための実践力と運動に親しむ資質や能力を培い，体力の向上を図るため，各種大会の対外試合への支援を行い，丈夫な体とたくましい心の育成を図りました。

《平成27年度実績》

・補助額 2,700,000円

【自立と社会参加を目指す特別支援の推進】

○教育支援事業

○特別支援教育支援員派遣事業

○小・中学校教育助成事業（特別支援学級費）

特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する早期からの一貫した教育的支援を実施し、自ら生き抜く意欲と態度の育成を図るため、事業を実施しました。

○教育支援事業

適切な就学指導を進めるための調査の実施及び資料の準備を図り、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の望ましい就学先等について協議を行いました。

《平成27年度実績》利根町教育支援委員会 年3回開催

委員10名 調査員5名

そのほか、必要に応じ特別支援教育支援員を配置し、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の学校内の生活を支援しました。

また、町内の特別支援学級在籍児童生徒と町内在住の県立美浦特別支援学校在籍児童生徒の交流活動を行い、連携した支援体制の強化を図りました。

○特別支援教育支援員派遣事業

文小学校へ3名・文間小学校へ4名、布川小学校へ5名、利根中学校へ各3名の計15名の特別支援教育支援員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活支援、学習支援等を行いました。児童生徒一人ひとりに付き添うことで、細かなところまで目を配ることができ、諸問題等の早期発見、早期解決につながる支援を行うことができました。

○小・中学校教育助成事業（特別支援学級費）

特別支援学級教材備品等の購入により実態に即した学習を行うことができ、学習意欲の向上を図りました。

【教職員の資質の向上】

○教育研究指導事業

○利根町共同研究指定校事業

○県派遣事業

○利根町教育研究会補助金

教育専門職としての立場と特性を再確認し、社会の変化に主体的に対応する教育が推進できるよう研修体制の充実及び指導力向上を図るため、事業を実施しました。

○教育研究指導事業

・訪問指導

各小中学校を訪問し，学校経営への協力・助言や学習指導・生徒指導等への指導・助言を行い，教育内容の充実や活性化を図りました。

・教職員研修事業

教職員の教科の指導力と資質の向上を図るため，先進校視察や各種研究発表会・研修会等への積極的な参加を支援しました。

○県派遣事業

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条の規定に基づき，指導主事を1名配置し，学校における教育課程，学習指導，教員研修等指導・助言を行い，教育行政上の問題など適切に対応し，各学校の教育活動の充実を図りました。

○利根町教育研究会補助金

利根町の教職員で組織されている研究会で，部会ごとに研究内容・方法等の成果や課題を検証・評価し，情報交換を行い教職員の資質・能力の向上及び児童生徒の学習意欲を高めることができました。

《平成27年度実績》

- ・生徒指導研修会
- ・人権教育研修会
- ・生徒指導主事連絡会
- ・町内巡検
- ・教育研究発表会

<p>必 要 性</p> <p>必要不可欠な事業か？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない</p> <p>教育は，一人ひとりの人格の完成を目指すものであり，子どもたちの学力，体力，豊かな心を育む教育のために必要不可欠です。</p>
<p>効 率 性</p> <p>効率的に実施できたか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い</p> <p>特別な支援が必要な児童生徒に対し，教育支援員を配置し支援を行うことができました。また，様々な心の問題を解決するための教育相談についても実施することができました。</p>
<p>達 成 度</p> <p>目標を達成しているか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成</p> <p>義務教育内容の充実を図るため，学力の向上に向けた施策や教育相談，特別支援教育支援など子どもたち一人ひとりに対し支援することができました。</p>

現状の課題・今後の取り組み等

義務教育終了までに、すべての子どもたちに自立して社会で生きていく基礎を身につけさせるため、また、子どもたちの個性を尊重しつつ能力を伸ばし、社会の一員として生きる基盤を育て、社会の発展を支える教養と専門性を備えた知性豊かな人間を養成するため、質の高い教育環境を整えるよう努めてきました。

平成27年度は、学力向上推進事業や特別支援教育支援員配置事業において、対象学年や支援員の人数を増やすなど、確かな学力を身につけさせる教育の推進に努めました。今後も社会全体で教育の向上に取り組む姿勢が大切であると考えます。

対 象 施 策	4 学校給食の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■安全でおいしい給食を提供します。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【給食内容の充実】</p> <p>○学校給食運営事業（事務局費）</p> <p>○給食運営事業（小学校費・中学校費）</p> <p>学校給食法第2条に掲げる7つの目標を達成できるよう、安全でバランスよく栄養摂取できるおいしい給食を提供し、児童生徒の健康増進と体力の向上を図りました。</p> <p>《学校給食の目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な栄養の摂取による健康の増進を図ること。 2. 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。 3. 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。 4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。 5. 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。 6. 国や地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。 7. 食料の生産、流通及び消費について正しい理解に導くこと。 <p>《食に関する教育》</p> <p>近年、子どもたちに偏った栄養摂取・朝食欠食等の食生活の乱れや、肥満・痩身傾向など、健康を取り巻く問題が深刻化しています。</p> <p>また、食を通じて地域を理解することや食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解していくことも重要です。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要となっています。児童生徒がその発達段階に応じて食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食に関する指導を行いました。</p>	

《地産地消の取り組み》

利根町や茨城県の活性化を含め、子どもたちに提供する給食の安心・安全を第一に考え地場産物を活用しています。週に4回の米飯給食には、利根町産の米を使用しています。また、蓮根や納豆などの茨城県産物を取り入れ、食べ物を身近に感じ感謝する心を養う取り組みを実施しました。

《自校方式での給食調理》

栄養教諭を中心とした各学校の調理師による毎月の献立会議において、学校給食に使用する食品及び調理法の検討、新献立の開発、衛生面・安全面の研修等を行い、あわせて情報交換により学校給食の内容の充実を図りました。

献立は栄養教諭が原案を作成し、献立会議において検討され、できるだけ多くの食品を組み合わせて食域を広めるような献立にし、季節の食材を取り入れつつ一般家庭において摂取しづらい栄養素が補充されるよう工夫しています。

さらには、給食を楽しんでもらえるようにリクエスト献立や、季節や行事を感じる献立を工夫しています。

決定された献立表は、各学校を通じて各家庭に配付しました。

《平成27年度実績》

献立会議	月1回	第2水曜日に開催
栄養教諭	利根中学校に1名	(各学校を巡回指導)
調理師	文小学校	4名(うち臨時調理師3名)
	文間小学校	4名(うち臨時調理師3名)
	布川小学校	7名(うち臨時調理師5名)
	利根中学校	7名(うち臨時調理師5名)
調理数	文小学校	226食
(5/1現在)	文間小学校	227食
	布川小学校	327食
	利根中学校	430食
給食費月額	小学校	4,030円(1食あたり単価 240円)
	中学校	4,600円(1食あたり単価 270円)

【給食施設・設備の充実】

- 給食運営事業（小学校費・中学校費）
- 給食設備整備事業（小学校費・中学校費）
- 給食維持補修事業（小学校費・中学校費）

安全でおいしい給食を提供するため、「学校給食衛生管理基準」（文部科学省制定）に照らした適切な衛生管理及び円滑な給食運営のため設備の維持管理・効率化を図りました。

- 給食運営事業（小学校費・中学校費）
- 給食設備整備事業（小学校費・中学校費）
- 給食維持補修事業（小学校費・中学校費）

給食用食器及び器具類の洗浄、消毒など給食施設設備のメンテナンス等を実施し、また、給食管理備品を購入し、円滑な給食運営と安全でおいしい給食を提供することができました。

《平成27年度実績（主なもの）》

○給食施設設備のメンテナンス等実施状況

- ・配膳用小荷物専用昇降機点検業務（11回/年）
- ・厨房機器点検清掃業務（1回/年）
- ・換気扇フード・ダクト清掃業務（1回/年）
- ・害虫駆除業務（2回/年）
- ・給食室内衛生検査業務（3回/年）
- ・グリストラップ清掃業務（4回/年）
- ・生ゴミ処理機保守点検業務（6回/年）
- ・その他炊飯器、真空冷機、ボイラー、エアコン等修繕

○給食管理備品購入

- ・小学校給食管理備品（調理器具等）購入
- ・中学校給食管理備品（調理器具等）購入

<p>必 要 性 必要不可欠な事業か？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>必要性が高い <input type="checkbox"/>妥当である <input type="checkbox"/>必要性が少ない 生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として必要性が高まっています。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p><input type="checkbox"/>効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/>概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/>効率が悪い 限られた給食費の中で、町内小中学校統一した献立で安全でバランスがよい給食を提供することができました。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか？</p>	<p><input type="checkbox"/>達成 <input checked="" type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>未達成 利根町産の米、味噌だけでなく、茨城県産の食材も取り入れ、安全でおいしい給食を提供することができました。</p>

現状の課題・今後の取り組み等

平成26年度に消費税が8%となり、食材が値上げするなど学校給食の運営は非常に厳しい状況の中で、給食費を改定せず、献立や食材の工夫等により、より良い学校給食の提供することができました。平成28年度からは、学校給食衛生管理基準に基づき保存しなければならない食材や食育の一環として行っている展示食の食材の費用を補助し、より安全でおいしい給食を提供します。また、月に1回、地元（茨城県産含む。）の食材を使用した給食を提供する地元食材提供事業を実施します。

学校給食施設については、平成28年度に利根中学校と布川小学校の大規模改修工事にあわせ、細菌、かび等が増殖しにくいドライシステムに給食室を改修し適切な衛生管理に努めていきます。

対 象 施 策	5 学校保健の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■児童・生徒の心身の健康管理の徹底に努めます。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【心身の健康管理対策の充実】</p> <p>○児童・生徒健康管理事業</p> <p>○教職員健康管理事業</p> <p>○就学事務事業</p> <p>学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、児童生徒及び教職員並びに新入学予定児童の健康管理上必要な健康診断を実施し、適切な事後措置により、学校における健康管理の充実を図りました。</p> <p>【体力づくりの促進】</p> <p>○児童・生徒健康管理事業</p> <p>○中学校補助金</p> <p>児童生徒の基礎的な体力運動能力を伸長させるため、下記の事業を実施し学校体育の充実を図りました。</p> <p>○児童生徒健康管理事業</p> <p>体力テストを実施し、結果を集計し、数値・グラフ化することで児童生徒の体力向上及び指導を充実させることができました。</p> <p>○中学校補助金</p> <p>各種大会の対外試合への支援を行い、丈夫な体とたくましい心の育成を図りました。</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>学校保健安全法に基づき、就学時の健康診断及び児童生徒等の健康診断を実施し、健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保を資するため必要不可欠です。</p>
効 率 性 効率的に実施できたか？	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>学校医及び校長の指導の下、保健主事、学級担任、養護教諭等が連携して取り組むことによって健康診断を効率よく実施することができました。</p>

達成度	■達成	□概ね達成	□未達成
目標を達成しているか？	<p>新入学予定児童に就学時健康診断を実施し、治療の勧告、保健上必要な助言を行い、児童生徒には、毎年、学校医による健康診断及び委託による各種検診を行い、疾病の予防、治療の指示等、児童生徒の健康の保持増進を高めることができました。</p>		
現状の課題・今後の取り組み等			
<p>子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、生活習慣やメンタルヘルスなど様々な問題が生じています。子どもたち自身が心身の発達や健康状態などを理解し健康の維持管理に努めるとともに、生涯を通して心身の健康問題に適切に対応できる自己管理能力の育成も必要となっています。</p> <p>養護教諭・保健主事が中心となって保健指導や保健学習の充実を図るとともに、スクールカウンセラーや心の相談員との連携をとりながら保健指導、健康相談の充実を図り、また家庭・地域へ保健教育の情報提供や啓発活動に努めています。</p>			

対 象 施 策	6 家庭・地域社会との連携強化		
担 当 課	学校教育課・指導室・生涯学習課		
推 進 目 標	■家庭や地域・学校が連携して健全な教育環境をつくります。		
平成27年度の主な取組内容及び事業効果			
【地域ぐるみで育てる体制づくり】			
○家庭教育セミナー事業			
子どもの心の理解，親の役割，親としての接し方等家庭教育に関する知識や家庭における教育力の向上を図りました。			
講話，移動学習，茶道，健康体操等			
《平成27年度実績》家庭教育セミナー開設状況			
対象者	登録者数	開催回数	延べ参加人数
児童生徒の保護者	28人	9回	71人
【学校安全対策の推進】			
○日本スポーツ振興センター共済掛金事業			
学校管理下での万が一の災害等（負傷，疾病，障害又は死亡）に対応するため，共済に加入し，児童生徒の災害に対し必要な給付を行っています。			
《通学路安全対策》			
常時見回りと点検・整備を行い，場合によっては草刈り等通学路の安全確保に努めました。			
《ヘルメット補助》			
中学生の自転車通学時のヘルメットを無償配付しました。			
課外活動を終えた下校時など夕暮れから夜間にかけては交通量も増え危険なため，全面反射型のヘルメットを使用することにより，通学時の安全確保に努めました。			
【地域に開かれた学校づくり】			
総合的な学習や道徳の時間を利用して，地域住民との交流を行い，運動会などのイベントや行事に地域の高齢者の方を招待する等世代間の交流を通して学校と地域のつながりの強化を図りました。			
《学校評議員の設置》			
地域に開かれた信頼される学校を実現するため，学校が保護者や地域の人達の意見や要望を的確に反映させ，家庭や地域社会と連携協力することが一層求められています。			
学校評議員は学校の教育活動の実施，学校と地域との連携に関することに関して意見・助言をいただき学校運営に反映させています。			

【青少年の健全育成】

○放課後子ども教室対策事業

○成人式典事業

○青少年相談事業

次世代を担う青少年の健全育成のため、青少年相談員、子ども育成会、PTA 連絡協議会等が様々な活動を実施しました。

○放課後子ども教室対策事業

子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進するとともに、学ぶ意欲のある子どもたちへの学習機会を提供するために、放課後において小学校の余裕教室等を活用し、スポーツ文化活動など様々な体験教室や地域住民との交流を行いました。

《平成27年度実績》

文小学校において、16名の入級があり、月曜日から木曜日の放課後（14：00から18：00）の時間に実施

○成人式典事業

次世代を担う新成人が式典への出席により社会人となることに対して自覚を持つ機会となり、積極的な社会参加を推進するため、式典を開催し、成人としての自覚だけでなく、中学を卒業した仲間と一緒に集うことで地域への愛着とふるさとに対する意識の高揚が図られました。

(1) 新成人者で組織される実行委員会と事務局で運営

(2) 日時：平成28年1月10日（日）

会場：利根町公民館

区分	男	女	計	備 考
対象者	82人	71人	153人	平成7年4月2日～平成8年4月1日生
出席者	58人	57人	115人	出席率75.2%

○青少年相談事業

青少年相談員による非行防止巡回、キャラバン等を行い、青少年全般の問題についての啓発に努めました。

必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない
	放課後児童の活動の場提供や青少年健全育成は、極めて重要であります。
効 率 性 効率的に実施できたか？	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い
	指導員・相談員等が効率的に各種事業を展開することができています。

<p>達成度 目標を達成しているか？</p>	<p> <input type="checkbox"/>達成 <input checked="" type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>未達成 児童の居場所確保や青少年健全育成啓発等により、概ね目標を達成することができました。 </p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p> 深刻な少子化や核家族化，共働き世代の増加により家庭環境は多様化しています。また，携帯電話やインターネットの普及により仲間と外で遊ぶ機会や地域の人たちと触れ合う機会が減少している現在，子どもたちの健やかな成長のために地域ぐるみで学校を支援する取り組みや，家庭における課題の相談指導体制を充実させ，保護者が参加しやすい学習機会の提供等，学校との協働活動を通じて，家庭と地域一体となった教育環境づくりを進めていくことが大切です。 </p> <p> 次世代を担う青少年の健全育成のため青少年相談員，子ども育成会，PTA 連絡協議会等が様々な活動を行っています。家庭・地域・学校と関係機関の連携した取り組みが重要であり，地域全体での見守り体制を図る必要があります。また，「放課後子ども教室」は，放課後等に子どもが安心して活動できる拠点（居場所）の確保を図るとともに，次世代を担う児童の健全育成の支援を行っています。 </p> <p> 放課後子ども総合プランは，今後，町全体で総合的に検討する必要があります。 </p> <p> 学校安全対策の推進では「通学路交通安全プログラム」により関係機関が連携し，児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。 </p>	

対 象 施 策	7 生涯学習活動の推進
担 当 課	生涯学習課
推 進 目 標	■生涯学習に関する意識の高揚及び施設の充実を図ります。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【生涯学習意識の高揚】</p> <p>○生涯学習推進事業</p> <p>生涯学習への関心や意欲が高まる中、一人でも多くの町民が活動の機会を得られるよう、生涯学習活動への支援等を実施しました。</p> <p>○生涯学習推進事業</p> <p>生涯学習に関する意識の高揚及び活動への支援を推進し、一人でも多くの町民が生涯学習活動に参加できるよう情報を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌「生涯学習ガイドブック」の発行（全戸配布） ・音のまち TONE ふれあいコンサートの開催 ・町民活動情報サイト「とねっと」の運用 <p>【自主的な生涯学習活動の支援】</p> <p>○生涯学習センター管理事業</p> <p>○公民館管理事業</p> <p>生涯学習の地域活動の拠点として、個人・各種団体・グループの活動の場を提供するとともに、生涯学習活動の情報の発信をしています。</p> <p>また、町の社会教育施設は、公共施設相互利用の対象施設となっており、他市町が同じ料金で利用できる協定を結び、一人でも多くの方が活動の機会を得られるようにしています。</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない 教育基本法第3条「生涯にわたってあらゆる機会に学習できる」の理念実現のためには、極めて重要です。
効 率 性 効率的に実施できたか？	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い ガイドブックや情報サイトにより、効率的に生涯学習推進のアピールをすることができました。
達 成 度 目標を達成しているか？	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コンサートでは音楽を身近に感じてもらえ、生涯学習に対する意識が高まりました。施設の効率的運営により、生涯学習機会の場の提供に貢献しています。

現状の課題・今後の取り組み等

生涯学習への関心や意欲が高まり、一人でも多くの町民が活動の機会を得られるよう、幅広い世代のニーズに合わせた取り組みが必要となります。また、それぞれの興味や趣味に応じた活動や公民館等の講座、グループでの自主的な学習などでも、より高度な内容や専門的な内容も求められるようになってきています。このような動きに対応するためにも生涯学習の環境づくりに取り組む必要があり、学ぶことを通して気軽に社会参加するなど、生涯学習活動を通して活力ある地域づくりを進めていきます。

社会教育行政は、自治会・町内会・婦人会等の伝統的な地域コミュニティに大きく依存してきました。しかし、産業構造の変化・過疎化・価値観の多様化等で、伝統的地域コミュニティの機能は大きく低下しています。公民館等のサークル活動が、新たな地域コミュニティの核として台頭しつつあります。こうしたことを念頭に、生涯学習活動を推進していく必要があります。

対 象 施 策	8 生涯学習環境の整備充実
担 当 課	生涯学習課
推 進 目 標	■すべての町民が生涯学習できる機会・場の提供に努めます。

平成27年度の主な取組内容及び事業効果

【社会教育施設の整備充実】

○社会教育施設（公民館、図書館、生涯学習センターなど）管理事業

社会教育施設（公民館、図書館、生涯学習センター、資料館、柳田國男記念公苑）を利用するすべての方々（児童から高齢者まで）が利用しやすい環境を整えるため、常に施設の維持管理を実施しています。

【生涯学習の機会と場の提供】

○生涯学習講座事業

○ふれあい楽習バンク

○公民館講座事業

○図書館管理・運営事業

○生涯学習講座事業

主に、夏休み等の長期休暇を利用し、他学校や他学年の児童 生徒との交流を図り、自然体験活動等の機会を提供しました。

また、成人向け講座を開催し、交流の場、学習の機会を提供しました。

	事業・講座名	対象	募集人員	受講者数	開催回数	開催時期
1	子ども茶道体験教室	小学生	40人	49人	3回	夏休み
2	子ども琴体験教室	小学3～6年生	20人	20人	3回	夏休み
3	子ども華道体験教室	小学生	40人	26人	3回	夏休み
4	縄文式土器づくり教室	小学生	10人	13人	3回	夏休み
5	わくわく体験教室	小学3～6年生	20人	27人	3回	夏休み
6	夏休み親子体験教室 料理・陶芸教室	小学生親子	8組	8組	1回	夏休み
		小学生親子	15組	16組	1回	
7	親子ふれあい講座 (星の観察教室)	小学生親子	30組	31組	1回	2月
8	陶芸体験教室	成人	15人	9人	3回	前期
9	リラックスヨガ講座	成人	12人	24人	6回	後期

○ふれあい楽習バンク

「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、教え合えるよう、10人以上のグループでの教室や講座に対し、登録されたボランティアの方に講師をお願いし実

施しています。

また、ボランティア講師の方の登録を随時募集し、充実したふれあい学習バンクを目指しています。

○公民館講座事業

児童から高齢者まで幅広い年代を対象とした講座を開講し、生涯学習の拠点となる場を提供しています。

	事業・講座名	対象	募集人員	受講者数	開催回数
1	はつらつセミナー	成人	60人	34人	9回
2	古典文学「紫式部」	成人	50人	46人	9回
3	ふるさとを学ぶ	成人	50人	24人	9回
4	快適な歩き方	成人	20人	20人	4回
5	フェルティングニードル	成人	20人	20人	6回
6	利根川図誌	成人	60人	23人	9回
7	親子DEリトミック	2・3歳児	15組	12組	3回

○図書館管理・運営事業

多様化、高度化する町民のニーズに応じた資料や情報を提供するため、15万6千冊の蔵書を有し、インターネットによる蔵書検索が行えるサービスを実施しました。

また、情報提供の施設として子どもから高齢者まで気軽に利用できる場所となるよう図書資料の一層の充実と利用者サービスの充実に努めています。

《貸出・利用の状況》

利用登録者数	蔵書冊数	貸出人数	貸出冊数	予約件数
13,054人	158,986冊	32,308人	131,499冊	1,964件

《施設の利用状況》

視聴覚ブース	インターネット	読書室	多目的ホール	第2会議室
1,241人	1,043人	1,619人	43回835人	15回116人

《主催行事等》

行事名	内容	回数	参加人数
映画会	映画の上映	12回	延べ167人
お話し会	あかちゃんのおはなし会	12回	延べ163人
読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	49回	延べ295人
スタンプラリー	夏休みスタンプラリー	-	114人

<p>必 要 性 必要不可欠な事業か？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>必要性が高い <input type="checkbox"/>妥当である <input type="checkbox"/>必要性が少ない 各種講座や施設での主催事業は、生涯学習環境の整備充実には極めて重要です。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p><input type="checkbox"/>効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/>概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/>効率が悪い 子どもから成人まで、幅広い年代に効率的に生涯学習機会の提供を行うことができました。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか？</p>	<p><input type="checkbox"/>達成 <input checked="" type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>未達成 すべての町民を対象に、各社会教育施設において、生涯学習を推進することができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p>子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズに合わせ、一人でも多くの町民が生涯学習に関心を持ち、活動の機会を得られるよう、内容の充実と周知の徹底を図る必要があります。現在、生涯学習センターや公民館を拠点として各種団体が自主的なサークル活動を活発に行っています。「いつでも・どこでも・だれでも」が生涯にわたり学習することができるよう多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実等、一層の環境づくりに努めました。</p> <p>また、今後は、学習した成果を適切に生かすことが出来る環境づくりが、極めて重要になってきます。公共図書館の目的は、娯楽や調査研究が並行しており、これに資源をどう配分するかバランスが最大の問題であります。公共図書館の最終的な目的は、住民生活の向上・充実、地域の活性化、地域の振興と考えられます。これは、地方公共団体の行政の目標であるとともに、地域社会の目標でもあります。地域振興には、それを担う人づくり、人材の養成と地域振興の活動に対する支援が必要であり、それには、人々の読書と学習が重要となり、公共図書館の役割はますます大きくなってきます。</p>	

対象施策	9 文化活動の振興
担当課	生涯学習課
推進目標	■文化芸術活動への理解と関心を深めます。
平成27年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【文化活動の支援】</p> <p>文化協会に登録している9部門（69クラブ）による自主的な文化活動が、生涯学習センターや公民館などを拠点に活発に行われていますので、情報提供等の支援を行っています。</p> <p>① 歌謡部門 ② 古典芸能部門 ③ 舞踊部門 ④ 洋楽・洋舞部門 ⑤ 絵画・写真等部門 ⑥ 手工芸部門 ⑦ 編物等部門 ⑧ 茶道・華道部門 ⑨ 一般教養部門</p> <p>【文化団体に所属している会員数（延べ人数） 1, 321人】</p> <p>【文化イベントの充実】</p> <p>○文化芸術事業</p> <p>・第31回利根町文化祭 開催日：11月2日（月）、3日（火） 開催場所：利根町公民館及び利根町保健福祉センター 芸能部門：文化協会24団体による舞踊・ダンス・楽器演奏・カラオケ等の発表 芸術部門：文化協会28団体による写真・絵画・生け花・手工芸品の展示、お茶の実演</p> <p>・秋のコンサート 開催日：11月14日（土） 開催場所：利根町公民館 出 演：青島広志のおしゃべりコンサート 入場者数：436人</p>	

- ・米軍太平洋音楽隊コンサート
 開催日：9月24日（木）
 出演：米国空軍音楽隊 13名
 入場者数：393名

- ・映画上映会
 毎月第4土曜日 図書館において映画鑑賞会を行っています。

【文化施設の整備と利用促進】

- 公民館管理事業
- 生涯学習センター管理業務
- 図書館管理・運営事業
 - 公民館管理事業
 - 生涯学習センター管理業務
 施設機能の充実強化
 - 図書館管理・運営事業

図書館の蔵書の充実を図り、利用促進と利便性の向上を図ります。

必要性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない 文化・芸術の原点は、生きる希望や力を生み出すものであり、文化芸術活動は極めて重要です。
効率性 効率的に実施できたか？	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 無料コンサート誘致や低料金でのイベント等により、効率的に文化振興の運営できました。
達成度 目標を達成しているか？	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 各種イベントや文化協会等の活動により、文化芸術活動への理解が深まっています。

現状の課題・今後の取り組み等

利根町公民館及び生涯学習センター等を拠点に、多くの町民が参加し交流のできる個性豊かな魅力ある事業を展開し、生き生きとしたまちづくりに取り組んでいます。芸術文化の発展や振興、併せて愛好者の親睦と情報交換を図るために文化協会の中では、町民手作りの発表会や文化祭が実施され文化活動を促進する事業を展開しています。文化・芸術の原点は、生きる希望や力を生み出すものであり、今後も、文化振興に力を注ぐことが必要であります。

対 象 施 策	10 歴史的財産の保全			
担 当 課	生涯学習課			
推 進 目 標	■町の歴史的財産を保護・継承していきます。			
平成27年度の主な取組内容及び事業効果				
<p>【文化財の保護】</p> <p>○文化財保護保存事業</p> <p>○柳田國男記念公苑・赤松宗旦旧居管理事業</p> <p>○資料館管理事業</p> <p>○文化財保護保存事業</p> <p>町には国指定文化財「金銅板両界曼荼羅」や、町指定文化財「花輪台貝塚」をはじめ、数多くの文化財や史跡などの歴史的財産があります。助成や適正管理により保護保存を行っています。</p> <p>○柳田國男記念公苑・赤松宗旦旧居管理事業</p> <p>・柳田國男記念公苑管理保全</p> <p>民俗学者の柳田國男を知ってもらふ資料館を開館していると同時に、町の文化芸術・スポーツ団体などの活動の場所としても活用されています。</p>				
入館者数				
年	月	集会室使用者数 (団体利用)	入館者数	開館日数
平成27年	4月	94人	130人	25日
	5月	202人	231人	24日
	6月	122人	105人	25日
	7月	202人	46人	27日
	8月	282人	82人	26日
	9月	251人	78人	24日
	10月	165人	120人	27日
	11月	93人	135人	24日
	12月	112人	55人	23日
平成28年	1月	130人	60人	24日
	2月	995人	137人	25日
	3月	390人	105人	27日
合 計		3,038人	1,284人	301日

・赤松宗旦旧居管理保全

江戸時代末期の布川出身の医者であり、地誌『利根川図志』を執筆した赤松宗旦の住居を復元し、家屋を資料館として開館しています。

また、赤松宗旦の功績や当時の布川の様子を知ってもらうため、赤松家に資料も展示・公開しています。

○資料館管理事業

・歴史民俗資料館

資料館では埋蔵文化財、民俗資料、民具 600 点、古文書 3 万点など歴史的に貴重な資料を収蔵・展示しております。

入館者数

年	月	入館者数	開館日数
平成 27 年	4 月	9 8 人	2 3 日
	5 月	3 3 人	2 1 日
	6 月	7 7 人	2 0 日
	7 月	4 8 人	2 3 日
	8 月	7 8 人	2 2 日
	9 月	2 5 人	2 0 日
	10 月	2 3 人	2 3 日
	11 月	1 7 6 人	2 1 日
	12 月	3 1 人	1 9 日
平成 28 年	1 月	5 2 人	2 0 日
	2 月	6 3 人	1 9 日
	3 月	4 0 人	2 1 日
合 計		7 4 4 人	2 5 2 日

【伝統文化の保存・継承】

○利根地固め唄保存会補助金

○利根地固め唄保存会補助金

茨城県無形文化財に指定されている「利根地固め唄」は、利根地固め唄保存会の会員により、次世代を担う子どもたちへの指導や、町内外のイベント参加での実演により継承活動を進めています。

7 月 25 日(土) 羽根野早尾盆踊り大会

8 月 22 日(土) 利根町民納涼花火大会

<p>9月9日(水) 国際交流会 (ウェルネススポーツ大学)</p> <p>10月18日(日) 茨城青年会議所例会</p> <p>11月8日(日) 町制60周年記念式典</p> <p>11月21日(土) 文間っ子まつり</p> <p>3月26日(土) 利根民謡・民舞の祭典</p>	
<p>必要性</p> <p>必要不可欠な事業か?</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない</p> <p>歴史的財産は、町民全体のものであり、これを後世に伝え、保護・継承していくことは極めて重要です。</p>
<p>効率性</p> <p>効率的に実施できたか?</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い</p> <p>施設での展示については、見やすく効率的に行っています。また、ガイドブックにより、まとめて文化財等の紹介をしています。</p>
<p>達成度</p> <p>目標を達成しているか?</p>	<p><input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成</p> <p>町の歴史的財産の保護・継承については、各施設での展示活動により、保護活動の必要性を周知しています。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p> <p>町では、歴史的景観や文化財の持つ意義を深く認識し、歴史遺産の適切な保護活用を目的として指定登録制度の推進、指定文化財保存の実施、所有者・関係機関との連携強化に取り組み、文化財の適正保存に努めています。</p> <p>地固め唄保存会においては、会員の高齢化が進んでいることから、会員の確保と次世代への継承を促進することが急務となっています。各イベントに積極的に出演し、伝承活動を行っており、今後も引き続き活動を推進してまいります。</p> <p>歴史民俗資料館においては、地域にかかわる資料の収集・保存・調査を進め、魅力ある資料館づくりを進めます。今後、資料のデータベース化を進め、貴重な歴史的資料を後世に伝える活動が必要となります。</p>	

対 象 施 策	1 1 生涯スポーツの推進								
担 当 課	生涯学習課								
推 進 目 標	■だれもが気軽にスポーツできる環境づくりに努めます。								
平成27年度の主な取組内容及び事業効果									
<p>【スポーツ・レクリエーション活動の促進】</p> <p>○町民運動会事業</p> <p>○学校体育施設開放事業</p> <p>○豊島杯体育大会補助金</p> <p>○利根町体育協会補助金</p> <p>○気軽に楽しむスポーツの普及</p> <p>○町民運動会事業</p> <p>町民のスポーツの祭典として、幼児から高齢者まで幅広い年齢を対象に一般種目、対抗リレー、アトラクション等を行い、心身の健康保持と増進を図りました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第44回利根町町民運動会</td> <td>平成27年5月30日(土)</td> <td>利根中学校</td> <td>1,887人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校体育施設開放事業</p> <p>社会体育の普及を図るため学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において地域住民のスポーツ活動に開放しています。</p> <p>・格技場 ・体育館 ・グラウンド</p> <p>○豊島杯体育大会補助金</p> <p>利根中学校及び近隣中学校を対象としたバレーボール、バスケットボール等による競技会を開催しました。</p> <p>○利根町体育協会補助金</p> <p>町民体育の振興と各競技団体の育成及び強化を図り、体育活動を通じて健康増進と体力の向上、明るい活力のある地域社会づくりに努めています。</p> <p>また、体育協会として利根町民運動会や利根町駅伝大会の運営にも協力しています。</p> <p>利根町体育協会登録団体数・・・18団体（スポーツ少年団含む）</p> <p>○気軽に楽しむスポーツの普及</p> <p>利根町出前講座の一環として、気軽に楽しむスポーツをテーマとした「スポーツ吹き矢」を紹介しました。スポーツ推進委員の協力を得て実施し、11名の参加者がありました。このうち、8名が障害のある方でしたが、スポーツを楽しむことができました。</p>			開催日	開催場所	参加人数	第44回利根町町民運動会	平成27年5月30日(土)	利根中学校	1,887人
	開催日	開催場所	参加人数						
第44回利根町町民運動会	平成27年5月30日(土)	利根中学校	1,887人						

<p>【スポーツ団体・指導者の育成】</p> <p>○スポーツ推進委員事業</p> <p>○スポーツ推進委員事業</p> <p>各種スポーツの普及と競技力及び技術の向上を図るため、学校や地域と連携を図りながら実技指導や大会の開催を行い、指導者の養成と人材の確保に努めています。</p> <p>【スポーツ・レクリエーション施設の充実】</p> <p>○学校体育施設開放事業</p> <p>○学校体育施設開放事業</p> <p>学校教育に支障のない限り、利根町立小中学校の体育施設を町民に開放することにより、社会体育の振興と普及を図っています。施設の管理については、学校及び学校教育課と連携し、適切に行っています。</p>	
<p>必 要 性</p> <p>必要不可欠な事業か？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない</p> <p>誰でも気軽にできるスポーツの環境づくりは、今後の生涯学習活動の推進に必要です。</p>
<p>効 率 性</p> <p>効率的に実施できたか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い</p> <p>スポーツの普及のため、団体補助・施設開放・指導者育成・運動会等が効率的に行われました。</p>
<p>達 成 度</p> <p>目標を達成しているか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成</p> <p>スポーツの環境づくりは、全町民を対象に行われており、今回は障害がある方への普及を行い、幅広い環境づくりをすることができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p> <p>健康増進や体力の向上は、地域で豊かに暮らすために重要です。また、健康づくりだけでなく、仲間づくり等など積極的に推進するためには、幅広い世代の人々のニーズに合わせたスポーツ・レクリエーションの機会を提供し、各種大会やイベントを通じて年齢やそれぞれの体力等に応じた生涯スポーツの普及及び啓発に取り組むことにより、より一層の健康増進、体力の向上を推進します。</p> <p>また、スポーツ活動の推進を図るため、一人でも多くの町民が気軽に活動できる環境づくりと、スポーツを推進する指導者となる人材の発掘と育成に取り組み、住民のニーズに応じた指導ができる仕組みづくりが必要となっています。</p> <p>今後も住民が気軽にスポーツが出来る環境づくりを目指したいと考えます。</p> <p>スポーツ施設環境に恵まれない町ですが、既存の施設や学校施設を最大限に利用して、スポーツを推進していくことが重要であります。</p>	

IV 教育委員会の運営状況

1 会議開催状況

会 議	回数	議案件数	報告件数	その他
定例会	1 2	4 1	4 1	—
臨時会	1	2	—	—

2 審議案件一覧

・議案

議案番号	議 案 名	備 考
1 2	平成 27 年度教育委員会所管の工事計画について	4 月定例会
1 3	平成 27 年度利根町一般会計補正予算（第 1 号）教育関係予算の意見の申出について	5 月定例会
1 4	利根町教育委員会事務点検評価実施要綱について	〃
1 5	利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱について	6 月定例会
1 6	利根町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について	〃
1 7	平成 27 年度要・準要保護児童生徒の認定について	〃
1 8	平成 28 年度使用小学校教科用図書の採択について（継続採択）	7 月定例会
1 9	平成 28 年度使用中学校教科用図書の採択について	〃
2 0	平成 28 年度使用小学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	〃
2 1	平成 28 年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	〃
2 2	平成 27 年度準要保護児童生徒の認定について	〃
2 3	利根町いじめ問題対策連絡協議会等条例の意見の申出について	8 月定例会
2 4	平成 27 年度利根町一般会計補正予算（第 2 号）教育関係予算の意見の申出について	〃
2 5	工事請負契約の締結に係る意見の申出について	〃
2 6	平成 26 年度教育委員会事務点検評価報告書（案）について	〃
2 7	平成 27 年度準要保護児童生徒の認定について	9 月定例会
2 8	利根町いじめ防止基本方針の一部改正について	10 月定例会
2 9	利根町教育委員会後援名義の使用承認に関する要綱について	〃
3 0	平成 27 年度準要保護児童生徒の認定について	11 月定例会

議案番号	議 案 名	備 考
1	欠番	2月定例会
2	学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	〃
3	利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の意見の申出について	〃
4	平成27年度利根町一般会計補正予算(第5号)教育会関係予算の意見の申出について	〃
5	平成28年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出について	〃
6	利根町子ども読書活動推進計画について	〃
7	平成28年度教職員の定期異動の内申について	3月臨時会
8	平成28年度夏休み短縮の試行について	〃
9	利根町教育委員会の複写に係る実費の徴収に関する規則の一部を改正する規則について	3月定例会
10	利根町適応指導教室設置規則の制定について	〃
11	利根町スクールソーシャルワーカー配置に関する規則の制定について	〃
12	利根町ティームティーチング非常勤講師配置規則の制定について	〃
13	利根町放課後子どもプラン実施規則の一部を改正する規則について	〃
14	利根町立小中学校の指定校変更に伴う要件及び手続きに関する要綱の全部を改正する告示について	〃
15	利根町立小中学校給食地元食材提供事業助成金交付要綱の制定について	〃
16	利根町立小中学校給食に係る展示食及び保存食原材料助成金交付要綱の制定について	〃
17	利根町教育委員会事務処務規程の一部を改正する訓令について	〃
18	利根町社会教育委員の委嘱について	〃
19	利根町公民館運営審議会委員の委嘱について	〃
20	利根町図書館協議会委員の委嘱について	〃
21	利根町生涯学習センター運営協議会委員の委嘱について	〃
22	利根町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について	〃
23	利根町文化財保護審議会委員の委嘱について	〃
24	利根町社会教育指導員の委嘱について	〃
25	利根町スポーツ推進委員の委嘱について	〃

・報告

報告番号	報 告 名	備 考
7	利根町放課後子どもプラン運営委員の委嘱の専決処分について	4月定例会
8	利根町教育委員会職員人事異動の専決処分について	〃
9	指定学校変更の専決処分について	〃
10	区域外就学の専決処分について	〃
11	教職員の休暇等の専決処分について	〃
12	臨時的任用職員の任用の専決処分について	〃
13	非常勤講師の派遣の専決処分について	〃
14	利根町教育相談員の委嘱の専決処分について	〃
15	利根町特別支援教育支援員の委嘱の専決処分について	〃
16	指定学校変更の専決処分について	5月定例会
17	区域外就学の専決処分について	〃
18	利根町教育支援委員会委員の委嘱並びに調査員の任命の専決処分について	〃
19	平成27年度利根町立学校評議員の委嘱の専決処分について	〃
20	指定学校変更の専決処分について	6月定例会
21	区域外就学の専決処分について	〃
22	町長の権限に属する事務の補助執行の専決処分について	7月定例会
23	指定学校変更の専決処分について	〃
24	区域外就学の専決処分について	〃
25	臨時的任用職員の退職の専決処分について	8月定例会
26	利根町特別支援教育支援員の委嘱の専決処分について	〃
27	区域外就学の専決処分について	9月定例会
28	教職員の休暇等の専決処分について	10月定例会
29	臨時的任用職員の任用の専決処分について	〃
30	非常勤講師の派遣の専決処分について	〃
31	利根町特別支援教育支援員の委嘱の専決処分について	〃
32	工事請負契約の締結に係る意見の申出の専決処分について	〃
33	指定学校変更の専決処分について	〃
34	区域外就学の専決処分について	〃
35	工事請負契約の締結に係る意見の申出の専決処分について	11月定例会
36	指定学校変更の専決処分について	〃
37	区域外就学の専決処分について	〃

報告番号	報告名	備考
38	利根町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の専決処分について	12月定例会
39	非常勤講師の派遣の専決処分について	〃
40	平成27年度利根町一般会計補正予算(第4号)教育関係予算の意見申出の専決処分について	〃
41	区域外就学の専決処分について	〃
1	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成27年4月から平成28年1月まで)	1月定例会
2	教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について (臨時職員)	〃
3	教職員の休暇等の専決処分について	2月定例会
4	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年1月分)	〃
5	平成27年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果報告について	〃
6	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年2月分)	3月定例会

3 その他の活動

- ・ 研修会等 茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会
茨城県市町村教育委員会教育委員研究協議会
市町村教育委員会研究協議会(第1ブロック)
市町村教育委員会研究協議会(第1回)
- ・ 各種行事 小中学校入学式, 卒業式, 小学校運動会, 中学校体育祭, 町陸上記録会, 音楽を楽しむ会(町制60周年記念事業), 小中学校芸術鑑賞会(町制60周年記念事業), 町民運動会, 文化祭, 成人式, 人権講演会
- ・ ホームページによる周知
教育委員会委員名簿
教育委員会議案等結果一覧及び会議録
教育委員会の後援名義使用について
教育委員会事務の点検評価報告書

4 教育委員会後援名義の使用承認一覧

承認月	申請団体名	事業の名称等	担当課
4月	豊島杯体育大会実行委員会	豊島杯体育大会 (バレーボール, バスケットボール)	生涯学習課
〃	利根町野球連盟	利根町春季野球大会	〃
〃	常総 100km 徒歩の旅運営協議会	第9回常総 100km 徒歩の旅 2015	〃
〃	斉真舞踊研究所	35周年記念斉真流舞踊公演	〃 (公民館)
5月	茨城県県南モラロジー教育者研究会	第52回茨城県教育者研究会	学校教育課
〃	東京瓦斯(株)常総支社	第9回全国親子クッキングコンテスト茨城大会	〃
〃	大好きいばらき県民会議	第26回大好きいばらき作文コンクール	〃
〃	(一社)常陽地域研究センター	第7回茨城県生活行動圏調査	〃
〃	(一社)茨城南青年会議所	創立40周年記念事業 【林 修氏】記念講演会	〃
〃	大好きいばらき県民会議	第43回花と緑の環境美化コンクール	生涯学習課
6月	茨城県中学校体育連盟	平成27年度茨城県中学校新人体育大会	学校教育課
〃	利根町体育協会テニス部	第32回利根町テニス大会	生涯学習課
〃	きの子たけの子の会 (木竹会)	親子ふれあい工作教室	〃
7月	(一社)茨城南青年会議所	郷土愛を育もう～心 COLOR～	〃
〃	利根町グランドゴルフ協会	第2回利根町グランドゴルフ大会	〃
〃	(公財)茨城県体育協会	第32回茨城県民駅伝競走大会	〃
〃	利根町少年野球連盟	第28回利根町少年野球交流大会	〃
8月	利根町野球連盟	利根町秋季野球大会	〃
〃	(一社)茨城南青年会議所	利根で遊ぼう! 2015 ～遊んでいさま sky～	〃

承認月	申請団体名	事業の名称等	担当課
8月	利根町写楽会	第30回利根町写楽会写真展	生涯学習課 (公民館)
9月	茨城県スポーツ少年団県南 南取手ブロック交流会	茨城県スポーツ少年団県南取手ブ ロック交流会ヘルシーボール大会	生涯学習課
〃	利根町卓球連盟	第35回利根町卓球大会	生涯学習課
〃	ひたち野モラロジー事務 所	モラロジー生涯学習セミナー	〃
〃	(一財)ワンネスグループ	映画「うまれる ずっといっしょ」 自主上映会	〃
〃	(一社)茨城南青年会議所	大江戸！みらい祭り！ ～過去とみらいを繋ぐ架け橋～	〃
10月	取手市・守谷市・利根町 教育研究会	第27回 つばさ展 (取手・守谷・北相馬地区小・中 学校特別支援学級合同作品展)	学校教育課
11月	宮坂 武親	第4回利根町「町民絵画展」	生涯学習課 (公民館)
1月	NPO 法人 子どもみらい飛行	第4回 TOSS 全国 1000 会場 教え方セミナー in 茨城	学校教育課
2月	利根町凧揚げ大会実行委 員会	利根町凧揚げ大会	生涯学習課
〃	竜K O I 舞祭実行委員会	竜K O I 舞祭 2 0 1 6	〃
〃	利根町体育協会 (ソフト ボール部)	第14回利根町女子親善ソフトボ ール大会	〃
3月	こども天国運営協議会	第39回 こども天国	学校教育課
〃	(一社)茨城南青年会議所	絆フェスティバル～魅せろ！茨城 の底力！！～	〃
〃	利根町文化協会 第5部門	利根町文化協会第5部門 第16回合同美術展	生涯学習課 (公民館)

V 点検評価員の意見について

平成27年度分の教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に当たって、客観性を確保するため、学識経験を有する者から意見を頂きました。

1 利根町教育委員会事務点検評価員（学識経験者）

（50音順 敬称略）

氏名	備考
市村 捷二	・民生委員児童委員協議会会長 ・文小学校学校評議員
巻島 久	・前利根町校長会会長 ・前利根町立布川小学校校長

2 意見聴取日等

- (1) 第1回 平成28年 7月 1日（金） 場所 利根町役場4階A会議室
(2) 第2回 平成28年 7月22日（金） 場所 利根町役場4階A会議室
(3) 第3回 平成28年 8月17日（水） 場所 利根町役場4階A会議室

3 主な意見

(1) 全体に関する意見

○点検評価結果について必要性と効率性について検討し、現状の課題及び今後の取り組みにつなげる報告書に改善したことは大いに評価できる。

●達成度をわかりやすくするためには、計画段階で目標数値設定をして達成度が表記できないか検討していただきたい。また、達成度が「概ね達成」と評価したものについては、「達成」に至らなかった理由等があれば、「現状の課題・今後の取り組み等」に反映していただきたい。さらに、評価を改善に活かし次年度に改善点を明確にした表現をするようにしていただきたい。

(2) 各施策に関する意見

1 就園・就学支援の充実

○子どもの貧困が社会問題になっている中、安心して勉強できる環境を整えられるよう、これからも要・準用保護児童就学援助事業の周知を徹底し、適切な就学支援を図っていただきたい。

2 義務教育環境の整備

- 学校施設の改修からエアコン設置まで学習環境が整備されたことは非常に評価できる。
- ICTを活用し、学力向上を図っている学校が全国的に広がっていると聞かれるが、施設環境が整ってきたことから、ICT化に向けて工夫していただき、できるところから進められるなどの準備を検討していただきたい。
- 義務教育環境の整備という観点から、学校樹木の剪定は定期的に行っていたが、かなり大きくなっている樹木もあるため、剪定計画等の見直しをしていただきたい。

3 義務教育内容の充実

- 「学びの広場サポートプラン」は、基礎学力の定着を図るために大きく役立っていると思われる。中学1・2年生まで対象を広げたことは、評価できる。
- 教育相談員への相談件数が増加傾向にあり、相談員の増員などを検討していただきたい。
- 各小中学校に特別支援教育支援員が大幅に増員されたことは、きめ細やかな教育になり非常に評価できる。
- 教育研究指導事業の教職員研修事業は、どのような研修をどの程度行っているか具体的に記載していただけると評価につながるので検討していただきたい。

4 学校給食の充実

- 「健康づくりとね21」によると、児童生徒のうち毎日栄養バランスを考えて食べる割合が（H25現在、小学5年生44%、中学生50%）となっている。また、偏った食事や朝食を抜いたりする児童・生徒も見受けられる。給食時間は、正しい食事を理解させる貴重な時間であるため、食生活の正しい知識と食習慣を身に着けることができるよう指導の工夫をしていただきたい。

5 学校保健の充実

- 児童生徒の心身の発達状況は個々にバラつきがあると思われるため、メンタルヘルスなどには、養護教諭やスクールカウンセラー、心の相談員が連携して相談と指導に当たるなど幅広い支援強化を図っていただきたい。
- 新入学予定児童の就学時健康診断は、児童数が減っている中、授業時間確保の観点からも各学校単位で行うのではなく、保健福祉センターなどでまとめて行うなどを検討してはどうか。

6 家庭・地域社会との連携強化

- 地域住民参加の授業などを取り入れるなど、地域に開かれた取り組みは大いに評価できる。

●登下校時の見守り等に関しては、賛同していただける家庭の数が地域によりバラつきがあるように思われ、中学生まで含めた見守りを徹底できるよう検討していただきたい。

7 生涯学習活動の推進

●生涯学習への関心意欲が高まる中、幅広い分野の取り組みと広報活動は評価されますが、欲しい情報が欲しい人（高齢者や障害のある方など）に届いているか、配慮ある情報提供ができているか検証を行い、改善などを検討していただきたい。

8 生涯学習環境の設備充実

●表を用いての報告で、全体的な活動は理解でき評価できる。

募集人員と参加人員及び前年度の参加人員と今年度の参加人員に大きな差が出ているところに注釈があれば、具体的な評価につながると思われるので、検討していただきたい。

○講座は常時見直すようにして、より幅広い受講者に生涯学習の機会を提供するよう努めていただきたい。

9 文化活動の振興

○広範囲の文化芸能自主活動にまんべんなく施設の提供に対応され、町民の活動が継続されていることは評価できる。

10 歴史的財産の保全

○予定されている歴史民族資料館のデータベース化にあわせ、魅力ある展示イベントが計画できることを期待します。

11 生涯スポーツの推進

○スポーツ少年団をはじめ、各種のスポーツ同好会・地域総合型スポーツクラブに学校体育館施設を開放することは、町有体育館が無い現在、生涯スポーツ推進に必須条件であり、大いに評価できる。今後も学校行事の都合で開放できない場合等のお知らせを徹底していただいたり、施設の使い方のマナーを守っていただけるよう工夫していただいたり、利用者同士がお互い気持ちよく利用できるよう努めていただきたい。

※改善を望む意見は●で表記しています。